

- ・内容をよく理解し、わからないことはすぐに質問すること。
また、かならずノート（or 手帳）にメモをとること。

聞くは一時の恥と言われますが、知らないことを質問するのは恥ずかしいことではありません。「自分がその分野の知識を（今は）持っていない（ただし、これから頑張っって勉強する）」という情報は、グループが円滑に研究を進める上で、グループにとって重要な情報です。

- ・特に実験や装置に関わることは、勝手に判断しないで、先輩や教員の指示を仰ぐこと。

操作を誤ると、実験を台無しにするだけでなく、装置を壊してしまっって数百万円のオーダーの修理を必要とする場合があります。

- ・指示されたことは、期日（時刻も厳守）までに確実に実行すること。

期日までに仕事を仕上げるのは社会人になっっても鉄則です。これをしくじる回数が増えらると（一回もないのが望ましい）他人から信頼されなくなり、仕事もこなくなります。

- ・何らかの問題があっって、実行が難しい場合は、必ず事前に教員に相談すること。また、先輩の知恵も借りること。

問題がある場合は、必ずボスや先輩に相談しましよ。良いアイデアが得られる可能性大です。また、就職後は、問題を自分だけで抱えて失敗すると全部自分の責任になります。上司や先輩に責任を分散しておくのが安全です（分散できるかどうかは各社のカルチャーに依存しますが）。

- ・研究室関連の行事の担当者は、万全の準備をし、一つの不備もないようにすること。とくに、行事の会場や場所には、十分早く到着し、準備を進めること。

行事の担当になっった場合は、自分自身のリーダーシップを訓練する良い経験の場と考えましよう。リーダーシップでは、勇ましく旗をふるよりも地道な根回しの方が大事な場合が多くあります。行事の決定では、まず、ボスの日程をおさえるのが第一です。ほぼ全員の日程がOKでも、ボスが不可なら全部ダメになります。また、会場には、十分早く到着しましよ。これは、何かトラブルがあっった場合に対処するためです（講演会場に行っったがマイクがないとか、プロジェクターが映らない等のトラブル）。

- ・指示された仕事を終えたら、かならず結果報告に行くこと。

結果報告は、もっとも大事な仕事の一つです。ボスは、報告をもとに次の行動を判断します。また、結果報告を他人にまかせる人がいますが、その場合、「その他人の成果」になっってしまう可能性があります。気をつけましよう。ボスは多数の部下を抱えて多くの指示を与えているので、あなたにとって唯一の仕事でもボスにとっては多くの仕事の一つかもしれません。わかりやすく成果を報告する（かつ、さりげなく自分の貢献をアピールする）よう努力しましよ。